



姫南天部会は、12月6日より出荷を開始し、目慣らし会を開催しました。正月飾りや門松に使用される縁起物として12月20日頃には出荷のピークを迎えます。

天候により葉の色づきが左右されますが、需要が高く、また共選出荷も珍しいため市場で高い評価を受けています。

目慣らし会では、曲がりがなく、十分着色して

いるか、シカ等の食害はないか、葉の大きさの確認等が行なわれ、生産者は真剣な表情で説明に耳を傾けていました。今年は、18名の生産者で出荷量14万本を予定しています。9月末以降の気温が比較的高かったこと等の影響により、例年より出荷数は少なくなる見込みです。

同部会 篠原隆司部会長は、「出荷数は少なくなるが、規格に忠実に向き合い品質をしっかり維持したい。」と話しました。

※マスクの着用の無い写真が含まれますが、写真撮影時のみ一時的にマスクを外しております。



多家良支所いちご部会は11月21日、全部会員の圃場を巡回し、各圃場にて、着果状況を確認しました。

今年は花芽分化の遅れから、着花がやや遅れ気味で、例年よりやや出荷は遅くなりました。今年度、同部会は生産者13名で栽培面積246㎡、総出荷量88トンを目指します。

鶴亀秀明部会長は「出荷が揃うのは例年よりやや遅れるが、なるべく足並みを揃え、有利販売に努めたい。」と話されました。

(11月末取材時)



J Aバンク徳島が主催する窓口担当者のセールススキル向上を目的とした「第8回 J Aバンク徳島窓口担当者ロールプレイング大会」が11月12日に徳島グランヴィリオホテルで行われました。

今大会は3年ぶりの開催で見事、徳島支所 次田茉容職員が優勝しました。

次田職員は「お客様のお金をお預かりする仕事。J Aはお客様との距離感が近いことは、良い点であるが、甘えが出てしまうという危機感もあった。今回の大会に参加することで、誠意を持ってお客様に接し、信頼を得ることの重要性を再認識できた。」と話しました。



川内支所管内でカリフラワーを生産する多田和宏さんは、11月21日、国府ケーブルテレビで放送されている「紗弥子の産地ごはん」の取材を受けました。番組では、収穫の様子とカリフラワーを使用した料理の紹介を行います。多田さんは、「カリフラワーの天ぷら」などを調理に役立つ豆知識と共に紹介しました。収穫編が1月から、料理編は2月から放送の予定です。



▲左から、東部営農経済センター 小谷職員、多田さん、ケーブルテレビ国府 奥野紗弥子アナウンサー。



佐那河内支所もいちご部会のブランドいちご「さくらもいちご」の初競りが11月29日、大阪中央青果であり、16個入りの化粧箱が昨年と同額の16万円で競り落とされました。今年は初出荷量が特に多く、紙トレー(230g以上入り)が785パック、16~28玉入りの化粧箱(850g以上)169箱が出荷されました。最高値をつけたのは、大阪市の仲卸業者「フルーツキング」。商品は店頭で並べられ、172,800円(税込)で販売され、買い物客からの注目を浴びていました。

生産者の高齢化が深刻化する中、部会と村では、担い手確保や、ブランドを次世代へと継承するため、「佐那のいちご塾」を発足し、「さくらもいちご」の生産者を目指す、地域おこし協力隊の募集行っています。同部会 栗坂政史部会長は「販売が厳しい中、この価格は有難い。注目してもらえることで、興味を持っていただける人の目に留まれば嬉しい。」と話しました。

▲店頭で172,800円の価格がついたさくらもいちご(大阪市神百貨店梅田本店で)

11月29日、本所にて「令和4年度 年金友の会 会長会」が開催されました。

会長会の会長選任、令和4年度の年金友の会 活動状況の報告、グラウンド・ゴルフ大会の開催、お誕生月記念品について協議されました。

年金友の会 会長会 会長に佐那河内支所 年金友の会 森脇昌之の会長が選任され、副会長には加茂名支所 早淵敏弘会長、応神事務所 近藤正克会長が任命されました。

森脇会長は「農業、J Aを取り巻く情勢はこれまで以上に厳しくなっています。年金友の会会長の皆様並びに友の会会員の方々のご支援でJ A徳島市がますます発展するようにご協力をお願いします。」と挨拶されました。



電力料高騰で逼迫する生産者が市と村に請願書提出

徳島県の菌床生しいたけについては、令和3年度の総生産量7,031トンと日本一の生産量を誇っていますが、長期化する原油や原材料費、電気料金等の価格高騰により、逼迫した経営状況が続いています。

そこで11月21日、しいたけ統一部会は、このような状況を少しでも緩和できるよう、しいたけ生産者に対しての支援措置を求める請願書を徳島市に提出しました。

現在、菌床しいたけは特用林産物としての位置づけであるため、林業分野として分類されており農業分野での支援措置が少なく、施設園芸等燃油高騰対策事業等からもキノコ類は除外されている現状や今後の生産維持が困難となり、廃業を余儀なくされる生産者の増加が懸念されている現状を訴えました。

請願では、同部会 中川浩樹部会長が「極めて甚大な影響を受けている4月～9月の6ヶ月間の電気料金について値上分の1/2補助」、「菌床生しいたけについて、林業分野から農業分野への見直しを図り、農業分野と同様に支援措置を求める意見書を県や国に向けて提出すること」を求めました。

請願書を受け取った内藤佐和子市長は、「生産費高騰は他産業においても経営に与える影響の大きさを痛感している。国や県など様々なところと繋がりながら、しっかり取り組みたい。」と応じていました。

また、12月1日は、佐那河内村に同様の要請を求める陳情書を提出しました。陳情書を受け取った岩城福治村長は、訪れた部会役員へ経営、生産状況等をヒアリングし、「省庁の枠組みから見直すべき案件。生産量ナンバーワンの県だからこそ発信する意味がある。順を踏みながら国、県に向け、働きかけたい。」と話しました。



▲写真は、左から小角参事、岩井常務、角谷光彦さん、内藤市長、中川浩樹部会長、福山雅夫 副部会長、坂口太一さん、河上直樹さん（徳島市役所）



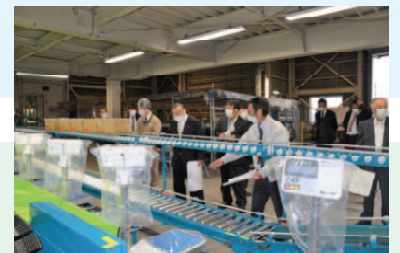
◀写真は、左から尾崎慶太さん、中西吉男副部会長、松長護さん、中川部会長、岩城村長（佐那河内村役場）

きゅうり選果選別設備を更新

南部営農経済センターは、きゅうり選果選別施設の更新を行い、11月29日に引き渡しが行われました。同センターの従来の機械は平成5年から使用されており多家良支所胡瓜部会が共選出荷を行っています。今後さらなる作業の効率化を目指し、施設の更新を行いました。

カメラ機能の性能が向上し、毎秒3本の選果選別が可能になったことにより、従来日量平均2.4トンの選果選別が3トンに増える他、重量計算がより正確になりました。

岩崎政史部会長は「今年度から部会に新規就農者が2名加入した。効率化され稼働が早くなることで、出荷量がさらに増えることを願っている。」と意欲を燃やします。同部会では、今年度13戸が218畝の栽培をしており、予定出荷量は500トン、目標販売金額は1億4,000万円を目指します。出荷は12月2日から6月下旬までの予定です。



アグリサポートセンター育苗ハウス第1期新設工事 着工



アグリサポートセンターの育苗ハウスの新設工事が11月より始まりました。

場所は北部機械化センターの北西の土地50畝で、第一期工事では30畝に育苗ハウス4棟を建設します。完成は2月中旬を予定しています。

松茂直売所 感謝祭



12月2日、3日、松茂直売所は感謝祭を開催しました。

野菜はすべて1割引の価格で販売しました。当日、新鮮な旬の野菜が所狭しと陳列され、店内はととも賑やかでした。

2センターでJAフェア開催

12月2日、北部営農経済センターにて、12月6日に南部営農経済センターで「JAフェア」を開催しました。

農機をはじめ、衣料品や住宅設備等を販売し、来場者に好評でした。また、JAでんき相談ブースを開設し、個別に電気料金の試算等の相談に応じ、推進を行いました。

北部センター農機コーナーでは、17馬力から75馬力の展示と実演トラクター12台が一列に並べられ、来場者を圧倒させていました。中には、来年3月に締め切りが迫るJA共同購入トラクター(33馬力)(SL33LFMAEP 製造元:株式会社クボタ)の展示も行われました。南部センターでは、バッテリー式電動工具の実演等が行われ、来場者は手に取って真剣に製品を見定めていました。

北部営農経済センター 東條元宣センター長は、「なかなかイベントが開催できず、3年ぶりにフェアが開催できた。これを機にイベント等が増え、さらに活気が溢れると嬉しい。」と話しました。



▲トラクターを見学する来場者（北部営農経済センター）



▲電動工具等を見学する来場者（南部営農経済センター）



農業婚活×いちご狩り

参加者募集

農家の独身男性と一般女性との婚活イベントを開催します。

新鮮ないちご狩り体験やゲームを通じて交流しませんか？

そこには素敵な、運命の出逢いが待っているかも！皆様のご参加をお待ちしております！

- ◆開催日時：令和5年2月19日(日曜日) 13:30~17:00
[受付時間 13:00~、集合場所 徳島市役所東側道路] 市役所東側駐車場(線路沿い)をご利用いただけます。
- ◆参加条件：40歳位までの独身男女
※男性は「徳島市の農業従事者または農家の後継者」
- ◆募集人員：男女各10名(応募者多数の場合は抽選)
- ◆参加費：男性3,000円 女性2,000円
※当日受付時にお支払いいただけます。
- ◆申込み方法：所定の参加申込書に必要事項を記入し、持参・郵送・FAX・電子申請のいずれかの方法でお申し込みください。
- ◆募集締切り：令和5年1月27日(金)(必着)

◎新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、中止になる場合があります。

お問い合わせ・お申込みは

■ J A 徳島市本所 営農経済部
〒770-0941 徳島市万代町 5-71-11
TEL (088) 622-6338
FAX (088) 622-6710

■ 徳島市農業委員会事務局
〒770-8571 徳島市幸町 2-5
(徳島市役所)
TEL (088) 621-5394
FAX (088) 621-5196



健康 百科

「新しい内服薬ゾコーバについて」

徳島往診クリニック 吉田大介

みなさん、こんにちは。徳島往診クリニックの吉田です。

12月1日、新型コロナウイルスによる国内死者数の累計が5万人を超えました。今年だけで3万人以上の死者が出ていて、世代別では60代以上が死者の約95%を占めており、男性が約57%で女性よりやや多くなっています。厚生労働省の専門家会合は現在の感染状況について、この夏の「第7波」のピークを上回った北海道では直近で減少に転じているものの、全国的には増加が続いているとしていて、ワクチンや感染によって得られた免疫の減少や、より免疫を逃れやすいとされるオミクロン株の「BQ.1」などへの置き換わり、それに年末に向け忘年会等が増加することなどによる影響に注意が必要だと指摘しています。抗体の保有率については、全国では26.5%で最も高い沖縄は46%に達したものの、最低の長野では10%を下回るなど、地域差が大きく徳島は13.1%と全国の半分以下で、長野に次いで2番目に低かったとのことでした。

そんな中、11月22日に厚生労働省は塩野義製薬の新型コロナウイルス感染症の飲み薬「ゾコーバ」が緊急承認されました。「ゾコーバ」は、軽症の段階から服用できる新型コロナウイルスの飲み薬で、重症化するリスクが高い患者を対象にしていたこれまでの薬と違い、重症化リスクの低い患者でも服用できるのが特長です。12歳以上を対象に、1日目は3錠、2日目以降は1錠を計5日間内服します。新型コロナウイルスは感染すると細胞内に侵入し、ウイルスそのもののRNAをコピーして増えています。ゾコーバはコピーの準備段階で働く酵素を機能なくすることによりウイルスの増殖を抑え効果を発揮するため、発症から3日目までに投与しないと効果が期待できない可能性が指摘されています。最終治験のデータによりますと、

投与は1日1回、5日間行われましたが4日目の段階でウイルスの量が偽の薬を投与された人に比べて30分の1程度に減り、重篤な副作用はなかったとなっています。また、現在主流となっているオミクロン株の「BA.5」を含む変異ウイルスに対しても高い効果を示したとしています。いづれどこで手に入るかという点では、薬が働く仕組みが同様のファイザーの「パキロビッドバック」の処方実績があるおおよそ2900の医療機関などへ11月28日から本格的に供給を始め、順次拡大していく予定です。その後各都道府県が選定した医療機関での処方や薬局での調剤ができる体制を整えたいうえで、処方可能な医療機関については、都道府県などのウェブサイトで公開する予定です。国から医療機関に配分され患者の費用の負担は当面はありません。

また、厚生労働省は新型コロナウイルスとインフルエンザの感染の有無を同時に調べる検査キットに関して、11月28日に医療用を一般用にして薬局やインターネットで市販することを決めました。これを受けて1日、厚生労働省で販売方法について専門家による審議が行われましたが、その結果、検査キットの販売は必ず薬剤師が行い、使い方などについて購入者に書面などでの説明を義務づけることを決めました。抗原検査は、ウイルス量が少ない場合は感染していても陰性と判定される「偽陰性」のリスクがあるため、検体の適切な採取方法や、陽性だった場合は検査結果を写真で残しておくことなどを説明するよう求めています。ただし、当面は医療機関への供給が優先されるため、一般への供給は限られたものとなりそうです。もし自分で検査をして、新型コロナが陽性の場合は健康フォローアップセンターに登録して「ゾコーバ」を内服しつつ自宅療養をしたり、インフルエンザ陽性の場合はオンライン診療で、抗インフルエンザ薬の内服をするといった流れが加速するものと思われます。

徳島県物価高騰対策応援金について

この度、県独自の支援制度として徳島県物価高騰対策応援金が創設され、申請受付が開始されましたが、この事業は、個人での申請となります。お手数ですが、お問い合わせは、下記コールセンターまでお願い致します。

徳島県物価高騰対策応援金コールセンター
TEL 088-602-1261

受付時間：午前9時から午後5時まで(土・日・祝日含む)

お詫びと訂正

本誌2022年12月号の4ページ「令和5年度水稻苗予約申し込みについて」のお知らせ欄において、記載事項に表現の誤りがありましたので、訂正させていただきます。

【本文4行目】誤) 稚苗 正) 発芽苗

また、本誌にて申込用紙の掲載を割愛し、「1. 申し込み期限」において、「下記の申込用紙」と記載があり、皆様には混乱を招きましたこと、さらに語弊のある表現があり、ご迷惑をおかけいたしましたことをお詫び申し上げます。尚、育苗センターは最大の努力を払い育苗に努めてまいりますので、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

理事会だより(令和4年11月24日)

協議事項

- (1) 令和4年度上半期ディスクロージャー誌について
- (2) 3億円超の信用の供与について
- (3) その他

報告事項

- (1) 令和4年度上半期末監事監査意見書について
- (2) 徳島県による令和4年度常例検査の実施並びに監事立会について
- (3) 監事監査規程の改正について

- (4) 令和4年度のみり監査法人による期中監査 I
②実施結果概要について
- (5) 令和4年9月末資産査定結果報告について
- (6) 令和4年度第2四半期エリア部門別損益について
- (7) 旧大原事務所売却に係る入札結果報告について
- (8) 債権回収について
- (9) 子会社の上半期決算報告について
- (10) 前回の営農経済委員会・金融共済委員会
の協議内容について
- (11) 理事会決議事項処理状況報告について
- (12) その他

島田清弁護士無料法律相談

通常通り開催いたしますが新型コロナウイルスの感染状況によりましては開催できない場合もございます。

日時 第3土曜日 9:00~12:00

金融共済部へ事前に予約が必要

申込先 ☎088-622-8003

場所 本所1階金融相談室

賀上延啓税理士事務所の無料税務相談

下記の通り開催予定ですが、新型コロナウイルスの感染状況によりましては、開催できない場合がございますのでご了承ください。

日時 1月10日(火)、24日(火)、31日(火)
9:30~15:00

申込先 総務部へ事前に予約が必要

☎088-622-6335

場所 本所1階 金融相談室